

# haleta

社会福祉法人 友朋会 障がい者支援施設 サニーサイド

## IN COUNTRY PARK

1人住まい訪問事業について  
提供サービスのご紹介  
お久しぶりの職員紹介  
新規利用者、新規職員のご紹介

<https://sunny-side.or.jp>

## ごあいさつ ～ 福祉サービスの近況 ～

さて、皆さんはピーターF.ドラッカーという方をご存じでしょうか。ウィーン生まれのユダヤ系オーストリア人で「マネジメント」の発明者とされています。この「マネジメント」の中で、ドラッカーは企業の目的についてこのように説明しています。

「企業の目的は、それぞれの企業の外にある。企業は社会の機関であり、その目的は社会にある。企業の目的の定義は一つしかない。それは顧客を創造することである。また、企業とは何かを決めるのは顧客である。」

これはつまり、私たちの事業、サービスを決めているのは私たち自身ではなく、顧客つまり利用者自身のニーズであるということです。最近の福祉のキーワードの一つに、「どこで、誰と暮らすのか」という言葉があります。私たちはいつの間にか、利用者（顧客）の生活の場は、障がい者支援施設と決めつけてしまっている部分があったように感じます。

しかし、そうではなく実家やGH、一人暮らし、高齢者施設や医療サービスの整った病院など生活の場は他にもたくさん存在します。また、家族と住みたいのか、友達と住みたいのかなど多様な選択と意思決定が可能な時代になってきているのです。もちろんその決定は様々な困難もあるでしょう。しかし、私たちはその選択と意思決定を尊重し、それに合わせたサービスの開発やニーズの創造に力を注ぎ創造し続けます。それが、地域共生社会の実現につながっていくことになるのだと感じています。

新たな年度が始まりました。様々な課題がある中で、今年も無事にスタートできるのは、いつも笑顔の利用者の皆さん、サニーサイドを応援して頂いているご家族の方々、そして、誠実に職務に向き合ってくれている職員のおかげです。本当にありがとうございます。

今年度も一丸となって頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈宮崎嗣〉

## 働きやすさを求めて変化しています

-法人本部-

サニーサイドでは職員定着の取り組みとして、業務の効率化に取り組んでいます。

スケジュール管理や連絡、稟議作成、その他申請についてクラウドサービスを活用しています。福祉の職場は、シフト勤務ということもあり、情報の共有が難しいこともありますが、クラウドサービス利用後は、支援方法の変更や緊急の情報もタイムリーに手に入れることが出来ます。もちろんペーパーレス化も進み、実感としては紙

の消費を4割削減出来ているように感じます。この他にもここでは紹介しきれませんが、PC、タブレットの追加、睡眠状況を確認するセンサーなども導入しています。職員への業務効率化に関する調査を実施し、「業務の効率化＝働きやすさ」の考えの下、見直しや新しい技術を取り込んで、人材の定着に結びつけていきたいと思えます。

ハード面でも、タブレットやPCを追加し、記録入力の時間の確保や情報のデータ化を図っています。また、マットレスの下に専用のセンサーを設置し、睡眠状況（レム睡眠、ノンレム睡眠、呼吸数など）をデータとして作成できる「眠りスキャン」も導入しています。これまでのデータ作成に充てていた時間を1時間程度は削減出来ています。どの取り組みも最初は操作が分からず、右往左往していましたが、慣れてくると今は手放せないものになっています。「業務の効率化＝働きやすさ」の考えの下、今後も見直しや新しい技術を取り込んで、人材の定着に結び

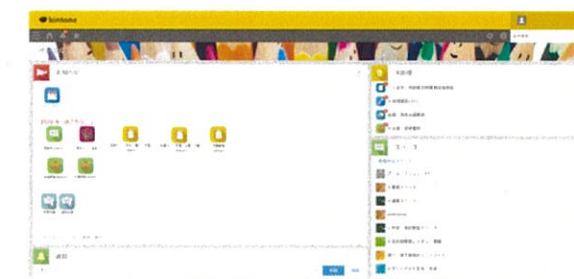


↑打ち合わせは、会議用のアプリを使用しPC上で情報の共有を図っています。

つけていきたいと思えます。加えて、昨今の物価上昇に合わせた、賃金表の改定を2024年7月より行い、基本給のベースアップを実施しています。処遇向上は職員定着の大きな要素として、今後も継続的な見直しを検討していきます。

最後に人材の確保では、2024年6月22日にKKRホテルにて、「福祉の就職総合フェア」に参加しました。正職員、パート職員の就職希望の方など多くの方と直接お話しできる機会になりました。今後も、サニーサイドと一緒にお仕事できる方を募集していきます。

〈河野〉



↑実際のクラウドサービスの画面。約90のアプリを用途に合わせて使用しています。

# 利用者のニーズに寄り添う

- サニーサイド -

障がい者支援施設サニーサイドでは、  
『社会生活の充実』  
『重度・高齢化への対応』  
『サービスの質の向上』  
の3つを、今年度の支援の柱として考えています。



社会生活の充実では主に「暮らしの選択」「外出等の活動の充実」に取り組みます。例えばグループホーム体験の計画や、様々な地域資源を利用した外出とイベント参加にむけた情報提供を行い、利用者の意思決定を尊重した支援を実施していきます。

重度・高齢化の対応については、「ライフステージ支援方針検討会の開催」「職員の介護スキルの向上」などに取り組みます。数年後に利用者の方の3分の1が60歳以上となる将来に備え、すでに職員向けの介護技術研修も開催しています。この課題に今後どのように向き合い対応していくのか、広報誌やSNSを通してお伝えしていきたいと思えます！

最後にサービスの質の向上について、「ホスピタリティの育成」「支援情報の一元化」などに力を入れます。中でもサービスの基本であるホスピタリティの充実には欠かせないもので、今年度は研修の実施も含めて支援の実践力アップに繋げていく予定です。

利用者の方に寄り添った支援を実現できるよう、職員全員で協力しより良い支援を行っていきます。

〈村上〉

# 福祉の生産性の向上

- ワークセンター -

サニーサイドワークセンターでは、工賃向上とモチベーションアップに向けた取り組みを行います。工賃向上に向けた取り組みでは、初めに委託作業の受注量増に着手して工賃アップを目指します。また、作業環境や補助具等の見直しなど、生産活動の効率化も常に意識した支援を提供していく予定です。

モチベーションアップについては、アートに触れる機会の提供や屋外での絵画活動の実施、働く場の見学を積極的に計画して作業意欲の向上を目指します。現時点ですでにカントリーパークへ屋外絵画に出かけており、7月には利用者全員での工場見学も予定しているところです！

〈永田〉



# 目標に向けて

- グループホーム -



グループホームは本年度新たに2名の男性利用者を迎え、のばら6名、さくら2名、かえで2名の計10名の利用者で新年度がスタートしています。

グループホームには78歳から18歳と幅広い層の方が入居されていますので、それぞれの利用者の身体機能や体力に合わせた支援を計画していきます。

本年度は、「自立に向けた生活のサポート」「健康維持・増進」の大きく2つの目標を掲げています。地域住民の方とのグラウンド・ゴルフ大会や、七城で行われる「コスモスウォーク」への参加、利用者によるボーリング大会など多くのイベントを企画し、地域の方や利用者同士の交流を実現します！

〈渡辺〉

# 職員紹介

「最近あった嬉しかったこと」

## 法人事務局



理事長  
衛藤 博  
「新規利用者が少しずつ増えてきています」



副理事長  
衛藤 真知子  
「新しい作家が誕生しました」



施設長  
宮崎 嗣大  
「"気づく"職員が増えてきています」



課長  
河野 敏道  
「家族で福岡に"ちいかわグッズ"を買いに行きました」



主任  
大森 天登武  
「鹿島アントラーズの調子が良い！」



主任  
麻生 唯子  
「娘の七五三写真が可愛すぎました笑」



事務  
雪野 麻衣子  
「子供が優しくしてくれたこと」



事務  
宮崎 千津子  
「コンサートに行けたこと」



事務  
原 裕子  
「人気で買えないメロンパンが買えました」



安全衛生管理者  
北里 うた子  
「菊南病院でレンタルアートが見れること」

## 障がい者支援施設サニーサイド



課長  
村上 美保  
「これからあると思います」



係長  
小北 幸子  
「子どもが生まれた事」



主任  
中山 綱将  
「宝くじで高額当選しました！」



主任  
小北 京佑  
「家族が増えた事、子供の成長」



主任  
高嶋 加奈  
「子供たちの成長です」



副主任  
田上 大智  
「最近子どもがババツ子」



副主任  
荻原 幸代  
「考え中です！」



支援員  
大友 淳美  
「息子がカーブの応援歌を覚えたこと」



支援員  
大友 悠平  
「息子二人の成長」



支援員  
清水 夏希  
「観葉植物がおおきくなりました」



支援員  
古庄 美幸  
「小北家のお子さんが誕生した事です！」



支援員  
山口 真衣  
「下の子がハイハイし始めました！」



支援員  
中尾 雄生  
「カラオケで99分が出た事」



支援員  
井手 佳寿美  
「姪っ子にねえねと初めて言われた事」



支援員  
宇都宮 美咲  
「試しに飲んだ抹茶フロースンが美味しかった」



支援員  
坂本 二千佳  
「好きなアーティストの新曲が出たこと」



支援員  
山下 貴大  
「セブンの1番くじで欲しかった景品があたった」



支援員  
藤本 萌香  
「深夜にラーメンを食べに行ったこと」



支援員  
高野 晴美  
「探し中です」



支援員  
堀本 由理  
「子どもと植物が元気に育っていること」



支援員

林 義郎

「レトロで良い音源を買いました」



支援員

坂本 保文

「利用者さんが笑顔で返事をくれたこと」



支援員

薄田 清子

「職員トイレに活けた庭の花を職員の方に心にとめて頂き楽しくワクワク仕事も楽しくなりました」



支援員

村田 俊宏

「シャワーの後のハイボール」



管理栄養士

大森 晴稀

「9ヶ月の息子がかかり立ちをはじめました！」



主任看護師

山口 光世

「花束とじゃがいも5kgをもらったこと」



看護師兼支援員

金光 悦子

「孫たちの大きな成長」



支援員

出口 薫

「アイスを食べたら図書券が当たった」

## サニーサイドワークセンター

## 相談支援事業所 サニーサイド



係長

永田 精一郎

「るぶを購入して、こどもと夏休みの計画を立てたこと」



主任

原 祐輔

「友達の子ちゃんを抱っこした時泣けなかった」



支援員

樋口 結香

「長男の塗が初めてぬけて成長を感じたこと」



職業指導員

宮崎 保旨

「孫が1年生になりました」



係長

前田 奈緒美

「トライアル予定の子猫に会えたこと」

## 共同生活援助事業所 サニーサイド (グループホーム)



主任

渡辺 真由美

「子どもが公式戦でベンチ入りした事」



副主任

中村 元貴

「初めて御朱印帳を買いました！」



支援員

内田 華奈

「祖母の90歳のお祝いをしたこと」



支援員

坂本 尚斗

「友人がステキなお土産をくれました」



支援員

野中 由美

「スポーツ吹矢の大会で優勝しました！」



世話人

岩上 ひとみ

「旅行に行けたこと」

2024年度も、総勢50名の職員でサニーサイドを盛り上げていきます！  
気になる事やお悩み等気軽に職員にご相談ください！！

## サニーサイドの画家たち展 Vol3 ～菊川豊ワールド展～

4月27日から5月6日にかけて、サニーサイド内のギャラリーミモザにてサニーサイドの画家たち展 Vol3を開催しました。この展覧会は「アール・ブリュット」普及事業の一環として開催しているもので、今回は「菊川豊ワールド展」と題し、サニーサイド利用者の菊川豊さんにスポットライトを当てたサニーサイド初の個展となりました。

菊川さんはサニーサイドが芸術活動を推進していくきっかけとなった作家で、熊本県立美術館本館で開催されている「生の芸術 Art Brut 展覧会」では第1回から第8回の開催まで毎年多数の作品が選出されました。



gallery mimosa  
サニーサイドの  
画家たち展 vol.3



菊川豊さんの作品は、色とりどりの点や線、そして大胆な構図が特徴です。彼の作品は、見る者の心を捉え、想像の世界へと誘います。ぜひ、この機会に菊川さんの作品をご覧ください。

「頭に浮かんできたものを描きます」と話されているように、イメージしたものをあるがまま画用紙に描く為、誰にも真似のできない独創的な作品に仕上がり、個展として一面に展示した際のインパクトと色彩はとても素晴らしいものでした。GW期間をはさんでの開催となりましたが、新聞記事で開催が取り上げられたこともあり毎日多くの方にご来場いただくことができました。

今後も春・秋の2回展覧会を開催していく予定です。また、ギャラリーミモザは、展覧会終了後も作品を展示しています。季節ごとに絵の掛替も行っていますので、お時間がある際にはぜひお立ち寄りください！

〈大森天〉

## サニーサイド説明会 in 若草児童学園

6月8日(土)に、大津町にある若草児童学園にて、学園の利用者とその家族に向けて、卒業後の進路の参考になる事を目的に「成人期の福祉サービスについて」「サニーサイドの取り組み」の説明会を行いました。

当日は 20名程が参加され、支援への熱い想いや取り組みについてしっかりお伝えすることができたかと思えます。また、若草児童園の河野施設長より、「目配り・気配り・思いやり」について話を聞く事が出来ました。それは、利用者への丁寧な接遇について毎日意識をし、職員同士でも日々共有し合わなければならない事だと感じました。

サニーサイドの魅力紹介に加え、児童学園の保護者の方との交流や意見交換もできた有意義な機会となりました。

〈小北京〉



## 1人住まい訪問事業について



サニーサイドでは、「一人住まい高齢者訪問事業」というものに取り組んでいます。これは、在宅で生活している「ひとり暮らし」の高齢者の方に向けて行うもので、毎月第2火曜日にお宅へ食事(昼食)を配達し、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、最近の生活についてお話を伺うなどして地域の方の安否確認を実施しています。

現在、約10名の方のお宅へ訪問していますが、皆さんとても楽しみに昼食の配達を待っていてくださり、昼食をお渡しする際にはどの方とも玄関先で話し込んでしまいます(笑)「いつも美味しい食事をありがとうございます」「あつという間に食べてしまって、もう来月が楽しみです」「来て下さったときの会話も楽しみにしています」などの嬉しいお声を毎回かけてくださり、地域の方の心の健康にも関わることができていると実感しています。

これから暑くなっていきますが、食事の取り扱いに十分配慮しながら昼食の配達を行っていききたいと思います！  
〈麻生〉



## 音楽クラブのご紹介！！

生活介護活動の時間には、主に体操やウォーキングなどの運動メニューのほか、絵画、書道、創作活動などのプログラムを取り入れています。

そして、5月にはコロナ禍以前に毎月お越しいただいていた外部講師の星子様をお呼びして、5年ぶりとなる「音楽クラブ」が実施されました！音楽クラブでは楽器を鳴らして音を奏でたり、流れてくる曲に合わせて自由に体をうごかしたり、伸び伸びと自由に楽しむことができます。

5年ぶりの実施を楽しみにしておられた利用者の方、コロナ禍以前にはサニーサイドを利用されていなかった利用者の方、活動の支援に入っている職員が同じように楽しむ姿が見られ、活動が再開できて本当に良かったと感じました。  
〈北里〉



## 新規利用者ご紹介



永田 理紗 様  
R5年12月から  
生活介護・施設入所を  
ご利用されています



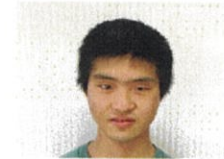
中原 明子 様  
R6年2月から  
生活介護・施設入所を  
ご利用されています



山田 沙也加 様  
R6年4月から  
生活介護を  
ご利用されています



笹本 真孝 様  
R6年4月から  
生活介護を  
ご利用されています



今村 龍星 様  
R6年3月から  
就労継続支援B型・GHを  
ご利用されています



三吉 隆博 様  
R6年3月から  
就労継続支援B型・GHを  
ご利用されています



松本 大地 様  
R6年3月から  
就労継続支援B型を  
ご利用されています

## ご出産おめでとうございます

職員の小北さん夫妻babyが誕生しました。  
京佑さん♡幸子さんおめでとうございます。



おきたかんな  
小北 華己ちゃん  
令和6年5月18日 誕生

## 新任職員



藤本 萌香  
(ふじもと ほのか)



荻原 幸代  
(おぎはら さちよ)

4月より、2名の職員が仲間に加わりました！  
これまでの経験を活かし、利用者みなさんによりよいサービスを提供できるよう全力で頑張ります！！

## 編集後記

今回のハレタより、記事や写真の配置を再編してみたのですがいかがでしたでしょうか？ご意見などございましたらご教授ください！さて、表紙は先月カントリーパークのバラまつりに絵画にでかけたときに撮った素敵な1枚です。とても気持ちのいい気候で、屋外で伸び伸びとクレヨンが走っていました！  
〈大森天〉

## スケジュール

- 7月 七夕会
- 8月 納涼祭
- 9月 敬老会、お月見会
- 10月 ハロウィン、泗水町文化祭
- 11月 秋まつり  
サニーサイドの画家たち展Vol.4

社会福祉法人 友朋会  
障がい者支援施設 サニーサイド

〒861-1213  
熊本県菊池市泗水町南田島1791-1

☎ 0968-38-4448  
☎ 0968-38-2850  
✉ info@sunny-side.or.jp

Home page



<https://sunny-side.or.jp>

Instagram



@sunnyside.yuhokai